


**釧路港発 海と街をつなぐ「コンブの森」
地産地活プロジェクト**
(申請者：釧路ガス株式会社・株式会社JBP )



釧路ガス株式会社

株式会社JBP ジャパンブルーカーボンプロジェクト

北海道釧路地域の概要

- ・北海道東部の政治経済の中心都市
- ・人口 約15万1千人(道内6位)
- ・釧路湿原国立公園と阿寒摩周国立公園の2つを有する都市



人口	151,375人(R8.1.31)
世帯数	90,511世帯(R8.1.31)
面積	254.15平方キロメートル
年平均気温	8.7℃(R7)



会社概要

設立	1936年11月17日（創業90年）
拠点	本社（鉧路市寿4丁目1番2号） 仲浜工場、桜ヶ岡工場
従業員数	99名
供給エリア	鉧路市、鉧路町（一部）



都市ガス事業



自社工場から約68,000件に
パイプラインにより天然ガス供給



電力販売事業



【鉧路ガスのでんき】
約8,200件お申込み ※2019年より受付開始

プロジェクトの概要

構想

2023年5月、釧路港でロープ式での『昆布の森』造成を決定

実行

地元都市ガス事業者として脱炭素推進で釧路市のゼロカーボンに貢献

ブルーカーボンを創出し地元でのオフセット「地産地活」を実現し次世代へ環境教育を推進

環境教育の実施

・2024年12月、「環境問題を"自分ゴト"に」をテーマに地元小学生向け参加型環境教育を実施。

地域還元の実施

・2025年度、釧路市東部漁協の地域初J-ブルークレジットを購入し、地元イベントでオフセットを実施。



授業の様子



育成したコンブ



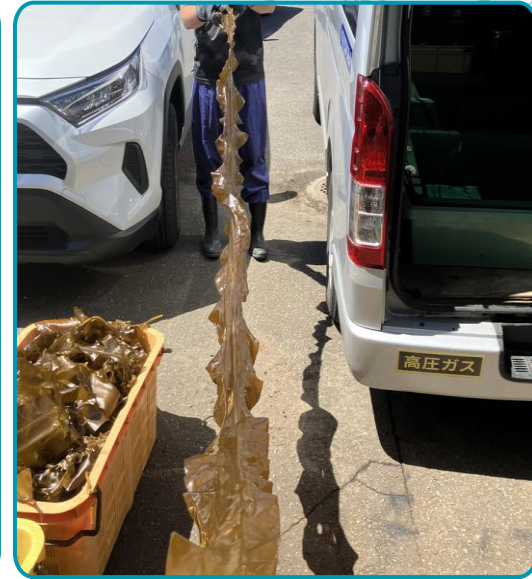
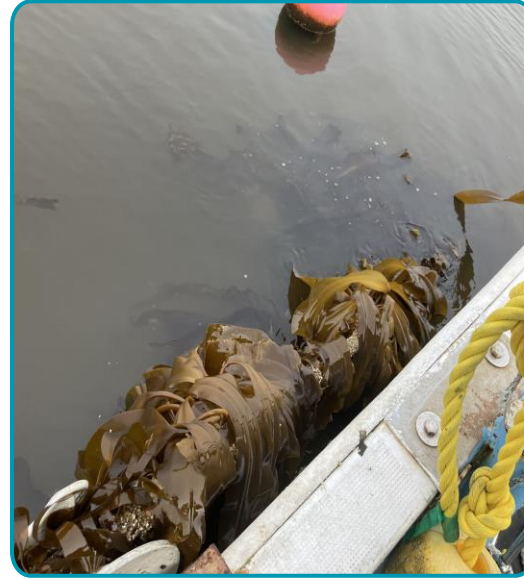
くしろ港まつりパレード
(パレード開催分に関わるCO2をオフセット)

プロジェクトの概要—生育状況

2024年12月



2025年8月



2025年4月



環境教育授業の様子

実施

・2024年12月、「環境問題を”自分ゴト”に」をテーマに地元小学生向け参加型環境教育を実施



今後

・2026年度も継続し、ブルーカーボンから藻場育成まで横断的に学習することで、子供たちの理解を深化させる。



授業に係るCO₂排出量を算定し（電力・ガス使用量、人の移動等）これを釧路ガス「昆布の森」J-ブルーカーボンクレジットで同量をオフセットする予定。

ーゼロカーボン授業予定ー



釧路ガスが目指す姿

漁業支援

地域創生活
活性化

域内循環

ブルーカーボンに
関する環境整備

ビジネスモデルの
構築

大気中の
CO₂

昆布が吸収

HOP
01

GAS 釧路ガス

CO₂吸収価値を
カーボンクレジット化

J-ブルークレジット創出

カーボン・オフセット都市ガスと
しての供給や地域のイベントで活用

J-ブルークレジット活用



STEP
02



JUMP
03

釧路市の
『ゼロカーボンシティ宣言』に貢献



脱炭素×地域漁業

『地産地活モデル』の確立を目指す！